

観光を柱に銚子の地域活性化を

伝統の水産業や海岸線生かして

千葉県は、首都圏にあって世界の空と海とを結ぶ成田空港や千葉港を有する優位な立地に加え、温暖な気候、豊かな自然、海・山の幸、歴史や文化など、多彩な観光資源があります。県は「観光立県ちば」を提唱、取り組み体制を整え、実現プロジェクトを進めています。

20世紀のハード産業から、21世紀型のソフト施策への転換。中でも観光戦略は、優しいおもてなしで人の心と心をつなぎ、雇用創出や地域経済波及効果も期待されています。

石毛くにゆき県議は、県議当選の前からいち早く観光を柱とした産業育成に着目していました。「銚子市の基幹産業である水産業の不振や、大型店進出による商店街衰退といった地域課題は深刻ですが、伝統の水産業や自然の海岸線を生かした公園化などの観光施策が、活性への有効な施策になる」と、3年前の選挙戦でも観光振興を打ち出し、その公約どおり、県議会の場から訴え続けてきました。



総務常任委員会の副委員長として（左から2番目が石毛県議）

観光振興へ向けた取り組み

関連する事業者の方が多く、経済的にも総合的で裾野が広い観光業。議会での一般質問や予算委員会での質疑など、あらゆる場で関連する事業の推進を訴えてきました。

歩行者の安全確保で強く要望

銚子公園線歩道設置

石毛県議は、当選直後より銚子公園線の歩道整備を県の執行部に交渉、事業化を実現しました。未確定な国と県の境界、国有林の払い下げ、払い下げの価格交渉など様々な難問も、関係各所と連携した粘り強い交渉の末、事業化の前倒しと当初見込

みの1/3という事業経費の大幅な節約に成功しました。



進む海洋性レクの拠点づくり

名洗港海岸環境整備

銚子市のシンボリックな地域でありながら、観光地としての整備不足でポテンシャルを活かしきれない名洗地区。石毛県議は、名洗マリーナから屏風ヶ浦に沿う防波堤の遊歩道化を促進。天然石を使用した護岸整備や、通行者の安全確保に配慮した転落

防止柵の設置などを提言しました。来年中には完成の見込みです。



接続道路の設置事業化が決定

春日町台地に接続

平成16年度に有料道路が無料化され、通行車両が増加したにも関わらず、接続道路が少なく利便性に乏しいとの声から、千葉県と銚子市に協力を要請していた旧有料道路への接続道路設置に関し、ついに今年度の事業化が決定。予算を効果的に活かせるよう協議を重ね、春日町部

分への設置が決定しました。来年度の共用開始が見込まれ、重要な動脈として期待されます。



2工区で1.45キロ整備

県道愛宕山公園線延伸

石毛県議は、旧有料道路から愛宕山を通り犬吠方面へ向かう区間を、観光バスが通行できるよう整備することが観光振興のためにも重要と、意欲的に訴えてきました。

本事業はすでに着手され、平成17年度から20年度完成を目指しています。来年度は用地取得

と一部事業区間の整備に着手する予定で、将来は観光バスも直接乗り入れが可能になります。



銚子市街地の渋滞解消へ

国道356号バイパス

国道356号芦崎町付近は、商店街を中心に人家が連なり、幅員が狭く交通量も多いことから交通渋滞が慢性化。通勤・通学時などの時間帯において、近隣の住民や通行者の方々は大変悩まされています。

その渋滞を解消すべく、バイパスの整備が進められているところであり、今年度早々には、芦崎町から小船木町までの直線部分の舗装工事と、芦崎町付近の国道からのワンタッチ道路への右折レーンの設置までが完了します。

残りのワンタッチ道路の直線

部分についても、今年度中頃に整備・供用開始される予定です。



石毛くにゆき県議プロフィール

◆経歴

- 昭和28年12月 銚子市生まれ(父 美津母 栄子)
- 昭和51年3月 日大法学部卒業
- 昭和51年4月 石毛司法・行政書士事務所長
- 平成15年4月 県議会議員初当選
元銚子市教育委員/元白民党銚子市支部青年局長/元銚子青年会議所副理事長/社会福祉法人松原福祉会理事

◆役職

- 千葉県地方港湾審議会委員
- 県議会総務常任委員会副委員長/前議会運営委員会委員/元議会予算特別委員/元議会決算特別委員
- 白民党県連前政務調査会委員